

「一般貸切旅客自動車運送事業」法令等試験問題

申請者名 _____

記入者名 _____

席 番 号	
-------------	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

I. 次の1から15までの文章で、正しいものには○印を、そうでないものには×印を（ ）内に記入しなさい。

1. 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。(道路運送法第30条)

(○)

2. 事業者は、整備の管理を行おうとする自動車と同種類の自動車の点検若しくは整備又は整備の管理に関して5年以上実務の経験を有し、地方運輸局長が行う研修を修了した者であって、かつ、法令に基づく命令により解任され、又は解任の日から2年を経過しない者を整備管理者として選任してはならない。(道路運送車両法施行規則第31条の4)

(×)

3. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款では、ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員の宿泊費等当該運送に関連する費用は、運賃として扱わなければならない。(標準運送約款第14条)

(×)

4. 自動車の使用者は、自動車が滅失し、解体し（整備又は改造のために解体する場合を除く。）、又は自動車の用途を廃止したときは、その事由があった日から30日以内に、当該自動車検査証を国土交通大臣に返納しなければならない。(道路運送車両法第69条)

(×)

5. 事業者は運行の主な経路における道路及び交通の状況を事前に調査し、かつ、当該経路の状態に適すると認められる自動車を使用しなければならない。ただし、法令の規定による許可を受けて乗合旅客を運送する場合にあっては、この限りではない。(運輸規則第28条)

(○)

6. 旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任又は解任した場合及び運行管理の補助者を選任又は解任した場合は、当該届出事由の発生した日から15日以内に届出を行わなければならない。
(運輸規則第68条) (○)
7. 事業者は、事業用自動車に少なくとも営業区域内の道路、地名、著名な建造物、公園、名所及び旧跡並びに鉄道の駅が明示された地図であって地方運輸局長の指定する規格に適合するものを備えておかなければならない。(運輸規則第29条)
(×)
8. 事業者は、旅客の運賃及び料金を変更しようとするときは、あらかじめ、国土交通大臣の認可を受けなければならない。(道路運送法第9条の2)
(×)
9. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法における運賃は、営業所の所在する出発地の運賃を基礎として計算するものとする。
(一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法) (○)
10. 一般貸切旅客自動車運送事業の用に供する車両総重量5トン以上の自動車に限り、運行記録計を備えなければならない。(運輸規則第26条)
(×)
11. 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者、車掌その他の乗務員は、旅客の現在する事業用自動車内で喫煙してはならない。(運輸規則第49条)
(○)
12. 旅客自動車運送事業者は、乗務員が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員の服務についての規律を定めなければならない。(運輸規則第41条)
(○)
13. 自動車は、乗車定員又は最大積載量について、国土交通省令で定める保安上又は公害防止その他の環境保全上の技術基準に適合するものでなければ、運行の用に供してはならない。
(道路運送車両法第42条) (○)
14. 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(道路運送法第22条)
(○)
15. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が非常信号用具、非常口又は消火器を備えたものであるときは、当該自動車の旅客に対しこれらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。(運輸規則第38条)
(×)

Ⅱ. 旅客自動車運送事業の欠格事由に関する次の文中、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(道路運送法第7条)

- ・国土交通大臣は、次に掲げる場合には、一般旅客自動車運送事業の許可をしてはならない。
- ・許可を受けようとする者が一年以上の(セ)又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わ
り、又は執行を受けることがなくなつた日から(コ)を経過していない者であるとき。
- ・許可を受けようとする者が一般旅客自動車運送事業又は(ス)自動車運送事業の許可の
取消しを受け、その取消しの日から五年を経過していない者(当該許可を取り消された者が法人
である場合においては、当該取消しを受けた法人のその処分を受ける原因となつた事項が発生し
た当時現にその法人の(カ)する役員(いかなる名称によるかを問わず、これと同等以
上の(ウ)又は支配力を有する者を含む。)として在任した者で当該取消しの日から五
年を経過していないものを含む。)であるとき。

ア. 事業停止処分	イ. 一般貨物	ウ. 職権	エ. 三年	オ. 契約
カ. 業務を執行	キ. 取消し	ク. 七年	ケ. 経済力	コ. 五年
サ. 一年	シ. 行政処分	ス. 特定旅客	セ. 懲役	ソ. 減給処分

Ⅲ. 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」において、国土交通省が安全運行の確保のために行った取り組みに関する次の文中、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン)

- ・平成24年4月29日に関越自動車道で発生した高速ツアーバス事故によって、貸切バスの安全運行を確保するため関係者が一丸となって対策に取り組む必要性が再確認されました。このことから、国土交通省は平成25年4月2日に「高速・貸切バスの(エ)」を策定、公表し、貸切バスについては「参入時・参入後の安全性チェックの強化」、「安全優先経営の徹底」、「ビジネス環境の適正化・改善」の取り組みを進めています。
- ・「参入時・参入後の安全性チェックの強化」においては、参入時の所要資金額の引き上げ、事業者が加入すべき損害賠償責任保険の(ケ)賠償限度額を一人当たり8000万円から(ア)に引き上げる等の強化を実施しました。また、「安全優先経営の徹底」においては、すべての貸切バス事業者に対して「(シ)」の実施義務付け、運転者の過労運転を防止するため交代運転者の(ソ)の強化等を定めました。これらの取り組みを平成25年12月までに実施したところです。

ア. 無制限	イ. 輸送の安全プログラム	ウ. 搭乗者	エ. 安全・安心回復プラン
オ. 3億円	カ. 健全経営実現プロセス	キ. 1億円	ク. 処分基準
ケ. 対人	コ. 輸送適正化計画	サ. 対物	シ. 運輸安全マネジメント
ス. 車掌	セ. 運行管理補助者	ソ. 配置基準	

IV. 旅客自動車運送事業の運行に関する状況の把握のための体制の整備に関する次の文中、
（ ）内に入る字句として正しいものを下欄から選び、（ ）内に記号を記入しなさい。

（運輸規則第21条の2、解釈・運用通達）

旅客自動車運送事業者は、法令その他の輸送の安全に関する規定に基づく措置を適切に講ずることができるよう、事業用自動車の運行に関する状況を適切に把握するための体制を整備しなければならないが、体制整備の具体的な取扱いについては、以下のとおりとする。

- ① 事業用自動車の運行中は、電話その他の方法を用いて、乗務員に対し必要な指示等を行える（ ア ）を整備しなければならない。
- ② 一般乗合及び一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行の形態上、（ キ ）又は大量旅客輸送が想定され、異常気象、乗務員の体調変化等の発生時に運行の中止等の判断、指示等に伴う調整が必要となることから、①の規定に加えて、事業用自動車の運行中少なくとも一人の（ ウ ）は、一般乗合旅客自動車運送事業又は（ コ ）旅客自動車運送事業の事業用自動車の（ ケ ）に従事せずに、異常気象、乗務員の体調変化等の発生時速やかに運行の中止等の判断、指示等を行える体制を整備しなければならない。

ア. 連絡体制	イ. 一定期間ごと	ウ. 運行管理者	エ. 特定	オ. 整備管理者
カ. 夜間	キ. 長距離	ク. 点呼点検	ケ. 運転業務	コ. 一般貸切
サ. 電話	シ. 電子メール	ス. 点検の実施	セ. 乗務員	ソ. 酒気帯び

V. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に定める一般乗用旅客自動車運送事業以外の旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等に関する次の文中、（ ）内に入る字句として正しいものを下欄から選び、（ ）内に記号を記入しなさい。

（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

- ① （ オ ）は、4週間を平均し1週間当たり65時間を超えないものとする。
- ② ただし、貸切バスを運行する営業所において運転の業務に従事する者等については、労使協定があるときは、52週間のうち（ ソ ）までは、4週間を平均し1週間あたり71.5時間まで延長することができる。
- ③ 一日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、（ セ ）は、16時間とすること。
- ④ 勤務終了後、継続8時間以上の（ ケ ）を与えること。
- ⑤ 連続運転時間は、（ ウ ）を超えないものとする。

ア. 休日労働	イ. フェリー乗船時間	ウ. 4時間	エ. 2人乗務	オ. 拘束時間
カ. 8時間	キ. 作業時間	ク. 隔日勤務	ケ. 休息期間	コ. 労働時間
サ. 時間外労働	シ. 26週間	ス. 6時間	セ. 最大拘束時間	ソ. 16週間

VI. 次の文中の（ ）の部分にあてはまる語句を答. _____の欄に記入しなさい。

1. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、五年ごとにその（ ）を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。(道路運送法第8条)

答. 更新

2. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金の設定又は変更の届出をしようとする者は、当該運賃及び料金の実施予定日の（ ）までに、運賃及び料金設定（変更）届出書を提出するものとする。(道路運送法施行規則第10条の2)

答. 30日前

3. 事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の（ ）を記載した領収証を発行しなければならない。ただし、乗車券を発行したときは、この限りでない。(運輸規則第10条)

答. 計算基礎

4. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（ ）ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(運輸規則第47条)

答. 使用の本拠

5. 一般旅客自動車運送事業者は、（ ）のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送（路線を定めて行うものを除く。）をしてはならない。(道路運送法第20条)

答. 発地及び着地